

仙人通信 195 中ノ倉山(1247m)

中ノ倉山は、本栖湖の西に座する山で、千円札の富士山の撮影ポイントの山そして3等三角点の山であるが、山頂を示す名前の書かれた標柱が無い事で知られた山でもある。

今回は、端足峠入口近くの浩庵キャンプ場前の広場に駐車して、いこいの国キャンプ場の近くから、仏峠を経て稜線を山頂に進み、中ノ倉トンネルの上にあるビューポイントを経て湖畔に沿って県道に戻るコースとした。

駐車場から500m程の所にあるいこいの国キャンプ場の管理人が居られたので、仏峠を尋ねると事務所の中を通り裏の階段を上った所に標識がある旨教えられ、従った。

テント場の裏の表示板には、千円札の富士山ポイントへ行く登山コースの旨が記されている。檜林の中に1m程の幅で作られた登山道は、登山者が少ないのか木葉に埋もれている状況である。スタートしてから25分程で、仏峠と中ノ倉峠を示す道標があり、左手の仏峠に向かう。木々は、ブナ・ミズナラ・ヒメシャラ等の落葉樹となり、足元ではフタリシズカと全体が緑に覆われたコースである。5分足らずで仏峠であるが眺望は利かない。

右手の尾根を5分程登ると先程のコースと合流だ。沢山の蝉の鳴き声の中、約10m間隔で木々に付けられた赤いテープを頼りに尾根路を25分で、木々に囲まれた3等三角点に到着である。確かに山頂を示す物は他には無い・・・。近くには登山道そして仏峠と中ノ倉展望台を示す道標があるのみだ。緩やかな下りでは、リョウブの白い花を見る事ができた。鞍部を過ぎるとアセビの木々に囲まれた露岩尾根路を飾る。短いが虎ロープもある。

30分程で第二のピークだ。その後は5分間隔で小さなアップダウンを繰り返し15分程で展望台である。登り始めてからここまで周囲の景色は緑に遮られ皆無であった事もあり、眼下に広がる雄大なコバルトブルーの湖に遊覧船が走る姿は最高である。一方大室山の先の富士山は、5合目から上に湧きあがった入道雲の中であった。車で本栖湖まで向って来た時の綺麗な富士山でなく残念だ。

時間に余裕があることから、雲の流れの経過待ちとした。湖の右側には、以前に登った竜ヶ岳が見事である。足元ではピンクのママコナの花が何株も咲き誇り、癒してくれました。

35分程待機しましたが、雲の動きに大きな変化も無い事から諦めて、尾根を散策後30分かけて国道300号に下山しました。

ここからは県道709号にて、湖畔沿いの草花に癒されながら50分掛けて車に戻る3時間半(16800歩)のノンビリとした山旅となりました。 (R1.8. 6)

仏峠

三角点の山頂

ビューポイントから

